

本紙は学内利用限定です。無断転載は禁止です。

2025.5.30.

就職活動を行う後輩へのアドバイス



本紙は、毎年、卒業・修了予定者を対象に実施している進路調査の付属アンケートにおいて、学生から寄せられたこれから就職活動を行う後輩へのアドバイスをまとめたものです。

2019年度～2024年度卒業・修了生からのアドバイスを、個人が特定されることのないよう配慮しつつ、できる限り生のコメントを活かす形で掲載しています。皆さんの学生生活や就職活動の参考になれば幸いです。

* 卒業・修了後の進路は皆それぞれ異なります。就職活動の活動時期や内容・考え方等にも個人差があり、正解はありません。記載内容は先輩学生個人の意見ですので、あくまで参考情報にとどめ、主体的に自分にあった活動をしていきましょう。迷いや不安がある時は、早目にキャリア相談や大学の支援窓口等をご活用ください。

https://www.kit.ac.jp/career_index/



京都工芸繊維大学学生支援センターキャリア支援室

Index

自己分析・研究・大学生活について 3～4

情報収集全般・OB/OG について 5～6

業界・職種研究について 7～9

インターンシップについて 9～10

エントリーシート・面接対策について 11～12

大学のキャリア支援の利用について 12～14

留学生へのアドバイス 14

その他アドバイス 14～17



自己分析・研究・大学生活について

自身をよく理解し、言語化することが納得のいく将来に繋がると考えております。これを、後輩へのアドバイスとします。(学部)

自己分析よりも今後自分がどうありたいかを考える方が大事だと思います。(学部)

自分といかに向き合うかが大切なので、家族や友達からも意見を聞くと良いと思います。先輩や同期など頼れるものは全て頼りましょう。(学部)

好きなこと、やりたいことを見つけてください！簡単じゃないです。頑張ってください！(学部)

就活は自己研究でもあります。あらゆることを考え抜いてください。そして、新たな出会いを楽しんでください。(修士)

就職活動で大切なのは自己肯定感とそれを裏付ける経験です。(修士)

低年次から自分自身のことを深く知り、行動を起こしてください。周りの意見に流されず、行動に自らの意思を持つことが自信につながり、良い結果を導きます。頑張ってください。(修士)

自己分析をしっかりすること。何がしたいのか、自分がどういう人物なのかをはっきりと理解しておくこと。(修士)

就職活動は自分を見つめ直す時期だと思うのでしっかりと自己分析を重ね、本当にやりたい仕事を探し、自分はどのように働きたいのかをしっかりと考えてください。自分の将来のために悔いのないように全力で取り組んでください。応援しています。(修士)

本音を話せる仲間を作る、何がしたいかを明確化しておく。(修士)

自己分析・研究・大学生活について（前頁からの続き）

自己分析が難しいと言う方は、自分がなぜそのような行動をとったのか？Why？に対する問いに答える形で、常日頃から、自身の行動に根拠や理由を持つことで自己分析が容易になると考えています。（修士）

早めに選考活動に参加し、自己評価と企業からの他己評価のギャップを埋めておくことをお勧めします。私もそうでしたが、思ったよりも就職活動はうまくいきません。早く気が付けば軌道修正が間に合うかもしれません。

自分の研究テーマを説明できることは勿論ですが、この研究テーマがどのような分野で生かされるかを意識して研究に取り組み、就職先を検討してみてください。（修士）

研究もあり、複数の選考が重なることもあるので、スケジュール管理がとても大切です。余裕を持ったスケジュールを立て、時間を有効に使えるようがんばってください。（修士）

研究を蔑ろにしないでください。就職活動しながらもしっかりと研究を進めている人が一番強いです。（博士）

就活やりすぎなどの圧力に屈せずに自分の思うように就活を頑張ってください。ただし、研究は止めないこと。（博士）

会社を決める前に、自分のやりたいことや、将来像を明確に決めておくことが大事だと思います。会社の大きさや、安定性も重要ですが、一番は自分のしたいことができ、努力できる環境がある会社かどうかと思います。より不安定で先が見えなくなりつつある時代なので、大企業でも安心できないと思って、自分が一番成長できるだろう企業を志望しました。（修士）

会社を決めるにあたって自分の中で譲れない条件は早く明確にしておいた方が、無駄に迷うこともないし志望度が明確になってモチベーションも上がる。（修士）

学生の時にいろんなことにチャレンジすることが採用に直結します。（修士）

情報収集全般・OB/OGについて

私のように自由応募を考えている学生は、余裕をもって行動するほうが良いと思います。例えば、推薦を考えている学生とはスケジュールが異なるといった部分を考慮することは大切だと思います。もし競争の熾烈な企業や業界、卒業生のいない業界を自由応募などで考えているならば、余裕をもって、情報収集・準備したり、有名な私立の大学の人と情報交換するのも有効だと思います。(学部)

自分の目で見ないと分からないことも多いので、人に聞いたら実際にあったりしてみるのをお勧めします。(修士)

やりたいこと、行きたい企業・場所があるなら早めに動いた方がいい。(修士)

OfferBox (逆指名型サイト) を利用しました。大変使いやすく、便利でした。(学部)

研究の妨げにならない程度に余裕のある時期に情報を集めることをお勧めします。直前になって取れる選択肢が少ないことに気づいては希望する職種に就けない可能性があります。(修士)

後輩たちへ: 就活の早期化は思った以上に進んでいる。早期化の是非はさておき、早めの行動が余裕に繋がることは間違いのないため、「効果的」「効率的」な早期対策を進めるべし。何が効果的か、効率的か、については周りを頼ること。(修士)

研究活動との両立は正直とても大変とは思いますが、自身の就職活動を通じて、余裕をもって行動・対策をすることが何より肝心だと感じました。周囲の友人との情報共有や先輩のアドバイスを積極的に利用し、一人で悩みすぎず進めていくと良いと思います。(修士)

どんな風に働きたいかを知るのも就活なので、やりたいことが分からなくても就活のイベントには行って良い。むしろ分からない人こそ行くべき。なんとなく思っていた自分の働く姿が、いろんな話を聞く中で具体的にになっていくのは楽しいよ。(修士)

情報収集全般・OB/OG について（前頁からの続き）

サークルで知り合った先輩が働いておられる会社だったので、企業の情報や面接のコツを聞きました。（修士）

研究室の OGOB 訪問を積極的に行ったことが何よりよかったです。自分のやりたいことは決まっていたので、専門的な話をした上でやりたいことが実現できるか、その可能性を見極めるには、全体への説明会ではわからないことが多く、専門職の方と会ってリアルな話をする方が得るものが大きかったです。（修士）

後輩は使えるものは何でも使って様々な会社を見て、自分が会社のどんな部分を優先して見ているのか気づくところから始めるのがいいと思います。
私は内定先(当時はまだ決めかねていました)についてより知るために、現在もそこに勤めている同じ研究室の 10 歳年上の先輩と直接お会いし様々なお話をしました。（修士）

学生の持っている知見は非常に狭い。まずは先輩、同期などの情報をあてにせず、自分で徹底的に企業研究すること。（博士）

就職活動に専念するか、研究活動と並行するかは、個人によって合う合わないがあるので、その人にあったやり方で就職活動をするのが良いと思う。また、業界や業種を絞って就職活動するのも良いが、その業界・業種が良いという理由を深めるためにも、関係のない企業のことを調査するのが重要だと思う。（博士）

仕事をすることは生きるための手段である。まず初めに、自身の幸せの定義を近似的に求め、その定義に近づくための手段として、仕事を探すことをおすすめする。意外と職種や業界に縛られず、自身の幸せに近づける仕事を見つけられる可能性が高まるためである。

もう 1 つは、その手段を見つけるためにはあらゆる情報源から選ぶことである。自身の幸せを叶えるための手段は無制限通り考えられる。しかしながら、大抵の人が探索する範囲は限定的である。そのため、定義が決定されれば、選択肢を無限通り増やすことで、おのずと自身の中で deep learning され、幸せを実現する手段に近づけるだろう。（博士）

業界・職種研究について

就職活動では、軸を決めて絞っていくと、あまり迷わず自身の目標となる就職先へ行くことが出来ると思います。(修士)

自分はOB・OGのいない企業を志望しており情報収集に苦労しましたが、企業さんが出している情報をしっかりと読み込むことでOB・OG訪問以上に企業理解をすることができました。早期化が進む中で周りの人と内々定をもらう時期がずれ、焦ることもあると思いますが、あくまで自身のペースでやり続けることが大切でした。頑張ってください！(修士)

理系大学生だから技術職という固定観念を持たずに幅広い業種・職種を検討することをお勧めします。(学部)

将来やりたいことは絞っていくけれど、企業は絞るより広げていった方が良いと感じました。(修士)

自分の専攻にとらわれず広い分野の業種をみてください。(修士)

どんなに大きい会社から内定が貰えても自分が心の底から納得できなければ、いつか後悔することになるので、自分が大切にしたいことを曲げずに芯を持って会社選びをすることが重要。(修士)

工学部卒だからメーカーの技術職という前提は必要ないと思います。もっと色々な業界を知ったほうが就活も楽しいし、結果技術職につくにしても、より意志が強くなると思うので、色々見てみてください。(学部)

自分のしたいこと、したいことをできる場所を探すのが就活です。企業側の一方的な採用活動ではないということを忘れずに、恋人探しのような感覚で活動できれば視野が広がり、楽しんで就活できると思います。頑張ってください！(修士)

公務員志望の場合も民間企業を併願しておいたほうが良いと思います。(修士)

業種は広げすぎると負担が大きくなる。(修士)

業界・職種研究について（前頁からの続き）

何事も余裕をもって行うこと。そして、自分の可能性を最初から狭めることなく色々な企業を受けること。楽しくありのままの素で面接に臨むこと。研究との両立で大変だと思いますが悔いのないように頑張ってください。（修士）

自分が専門で勉強してきた業界に行く人は多いと思うが、このまま働くのは違うかもしれないと自分が思ったら進路を全く変えてもいいと思います。また、ネームバリューで決めるのではなく自分が精力的に働けそうな相性のいい会社を探すといい。（修士）

まじめな研究室ほど就職活動に充てる時間が少なく、苦勞すると思うが、その分隙間時間を見つけてはコツコツと企業研究などを進めるべきだと思う。実際には早期選考でほぼ内々定者を取り切ってしまう企業なども存在するのでは始める時期が重要だと学んだ。（修士）

世の中の企業は思ったより多いので気をつけましょう。（修士）

就職活動初期において自分が絶対に行きたいと思った企業であっても、活動を進めるうちに考え方が変わることもあるので、視野を狭めて選択肢を少なくしないようにしてほしいと思う。（修士）

早く内定をもらうことがすごいことでも、正しいことでもないです。できるだけたくさんの社会人と出会い、お話ししてください。自分の知らない世界を知ると将来の可能性が広がります。（修士）

企業に対して、消費者として良いと思う点と被雇用者として良いと思うことを混同しないことが大切だと思いました。就職活動をしている中で、消費者目線で良いと思った気持ちのみで就職活動を押し切っている人がいたように感じたので、両方の面から良いと思える企業に出会うことが大切だと思いました。

業界・職種研究について（前頁からの続き）

就活の軸を早期に固めておく。そのためには様々な業種の会社説明会に参加しておくが良い。（修士）

就職活動では色々な企業を見て回ることをお勧めします。その中でやっぱりここが良い、や、ここは合わない…などなど出てくると思います。（修士）

メーカーのデザイナー募集の就活はポートフォリオを 11 月中に完成させること。（修士）

大学の専攻種類が多様な分、他の芸術大学の生徒に比べて、企業から作品を見に来てスカウトしてもらえる、という可能性・チャンスが少ないです。デザイナーという募集人数が少ない職種である以上、自分に合った職種の募集を見つけることが難しい場合もあるように感じました。募集になくても、採用してもらえるチャンスがあることもあるので、気になった企業には能動的に問い合わせて自分から関わりを持つことをお勧めします。（修士）

インターンシップについて

大手企業と中小企業（個人設計事務所やアトリエ）どちらの雰囲気も早い時期からインターンでぜひ知ってみてください。特に個人設計事務所などは常に人が足りてない印象なので、1、2年生からでも体験させてもらえるとと思います。私はとにかくすべての行動が遅く、学業についても落ちこぼれていたのが苦労が絶えませんでした。インターンにて両方の雰囲気を知れてはいたので、結果的には運よく自身の将来のビジョンに合う選択はできました。早くから意識して行動するだけで選択肢の増加のみならず、学生生活の指針の一つが固まるとと思います。就職がすべてではない学部ではありますがどうか選択肢は常に広くお持ちください。

インターンなどで、自分の目で見てから、納得のいく判断をしてください。（学部）

早めに早めに動こう。（最低限気になる企業のインターン締め切りは把握しておく）

インターンシップについて（前頁からの続き）

インターンシップには是非参加してみたいです。様々な企業の従業員とデスクを並べて仕事を体験できるのは学生の特権です。勉強になる、働くイメージが湧く、学校からQUOカードが貰えるなどなどメリットしかないと思います。研究と就活の両立は大変かと思いますが、楽しみながら頑張ってください。（修士）

絶対行ってください。私は行かずに後悔しました。（修士）

早めに動くこと！先輩を頼ること！採用につながる夏の長期インターンに行くこと！（修士）

インターンに行くことは大事ですが、行かなかったからといって就職できないことはないので頑張ってください。（修士）

インターン選考は選考のステップが少ない企業も多く、夏～冬のインターンには参加した方がいい。また、希望の業界や職種がある場合でも、それに拘り過ぎず広い視野で企業を見ていくことが、焦らず就職活動を進める上で大切。（修士）

夏インターンシップには積極的に参加すべきです。早期に就活を終えることでM2で研究活動に集中することができます。（修士）

大企業からベンチャーまでいろいろインターンに行くべき。自分の自己分析や選考の練習にもなる。（修士）

早々に職種を決めて就活を始めるのではなく、まずは合同インターンシップイベント等で様々な企業のブースに参加してみると思わぬ発見があるかもしれません。（修士）

エントリーシート・面接対策について

ポートフォリオ作成、既存作品のブラッシュアップは早めに行いましょう。(学部)

男性が多い業界のため、就活中に性差に関する質問があった(男性の中でやって行けるか、体力は追いつくか、女性の一人暮らしに親御さんは賛成か等)。また、コロナ禍の影響を受けた業界では、ここ数年採用実績がなかったり、私自身の面接も後ろ倒しとなり、なかなか内定が出ず焦る場面もあったが、元々熱望していた業界で、真摯に面接に向き合ってくれた。(学部)

物事を伝えるときは、対象に合わせて伝え方や内容を考える必要がある。これは面接でもエントリーシートでも同じ。(学部)

1つの相談内容につき(ES添削、模擬面接など)、キャリア相談を3回以上利用すると十分な力がつきます。(修士)

ESや面接対策は1人ではしないこと。(修士)

面接の際は事前に入ることができる範囲で実際の現場に行き、当日ここで時間が来るまで過ごすといったことまで決めていると、余計な緊張をせずに済みます。また、第一志望が上手くいかなかった場合であっても、調べ尽くしたと思っても意外と自分の行きたいと感じるところが残っていたりするので、少し休んだりはしてもいいですが、諦めないでください。私は諦めなかったお陰で最終的に、より行きたいと思うところを見つけられ、かつ内定をいただきました。(修士)

就職支援事業であった、模擬面接の講義はとても有益で、技術面接の際にどう受け答えしたら良いか理解することができました。後輩にはキャリア相談を積極的に利用し、ESを客観的に添削してもらうことをぜひお勧めしたいです。(修士)

友達と企業説明会に行ったり、先輩にES添削を頼むなど、周りの人を巻き込んで就活すると精神的に楽でした。無理しすぎずがんばってください！(修士)

100回の面接練習よりも1回の面接本番のほうが為になります。(修士)

エントリーシート・面接対策について（前頁からの続き）

変わっていると言われている人たち、ES でも変わった文章を書くかもしれないので、誰かに添削してもらうことを1つの案にしてほしい。（修士）

ES は必ず他人に見てもらいましょう。学内外問わず、面接講座を受講するのも良いかもしれません。また、本選考が始まるまでにインターン等の面接を経験しておくことを強くお勧めします。（修士）

早めに ES を完成させると、面接対策に時間を多く割くことができ、有利になる。（修士）

オンラインであることを活かして第一希望の企業だけでなく、その企業と同じ業界の企業の面接も併せて受けることでより業界の理解が深まり、さらに比較することで説得力も増すと思うのでどんどん面接をして大丈夫だと感じました。（修士）

面接に落ちても「自分とは合わなかった」以外考える必要は無いと思います。（修士）

自分の場合話し方を指摘されることが多くて就職活動が長引いてしまった。また面接練習はマイナビ等で行ったが結局数をこなす必要があった。（修士）

大学のキャリア支援の利用について

大学で行われる就職ガイダンスや、学生支援・社会連携課のキャリア相談、面接練習への参加がとても役に立ちました。大学からの支援には積極的に頼るといいと思います。（学部/修士）

キャリア相談の人は的確なアドバイスを貰える。自分で完璧な履歴書だと思っていっても一回行った方がいい。（学部）

キャリア相談をたくさん利用するべきだと思います。（修士）

大学のキャリア支援の利用について（前頁からの続き）

とにかく人の手を頼ることが大事だと思います。独りよがりにならずに、先輩や、進路指導員の先生や、家族や、キャリアセンターを利用すること等をして、いろんな人の意見を聞いて抱え込まないでください。（学部）

様々な媒体で様々なアドバイスを受けることができると思うが、最終的には自分の言葉で自分の考えをちゃんと伝えられるかが大切だと思います。就活支援を頼るのは良いけれど依存はしないように。集団面接でありきたりで無難な答えのみを返していた人は次の試験には残っていませんでした。（修士）

大学の就職支援はしっかり活用した方が心の不安が取り除けて就活に集中できると思います。少なからず自分はそうしなかったのでメンタルにかなりダメージがありました（修士）

大学のキャリア相談室に通うことをお勧めします。私は、まだ余裕のある時期に一週間連続で通い、自分に合った相談員を見つけました。その相談員の方に面接やエントリーシートの指導を何度もいただきました。その結果、スムーズに納得のいく就活を行うことができました。（修士）

就職活動に関する情報にアンテナをはっておくことと、学校の就職支援サポートを有効に活用することをお勧めします。（修士）

大学の就職支援を最大限に利用してください。（修士）

キャリアセンターにとっても助けていただきました。1人で悩まず利用することをお勧めします。（学部/修士）

キャリア相談の人は的確なアドバイスを貰える。自分で完璧な履歴書だと思っていっても一回行った方がいい。（学部）

大学のキャリア支援の利用について（前頁からの続き）

様々な媒体で様々なアドバイスを受けることができると思うが、最終的には自分の言葉で自分の考えをちゃんと伝えられるかが大切だと思います。就活支援を頼るのは良いけれど依存はしないように。集団面接でありきたりで無難な答えのみを返していた人は次の試験には残っていませんでした。（修士）

留学生へのアドバイス

外国人として日本企業に就職するのは難しいが、多くの準備をすれば可能だと思います。（修士）

Japanese language skills are essential to keep up with the available information for job hunting, especially in companies. I missed many opportunities because I cannot speak Japanese. But, since I came on a scholarship with limited time, there was no time to spare to improve my Japanese.（博士）

日本での就活タイミングをよく把握することがとても大事です。いつまで、何を準備しないといけないのか。業界、企業の規模によって、応募する期間が異なることに配慮して、就活のスケジュールを取り込む必要がある。（修士）

その他アドバイス

なるようになります。（学部）

周りの人の手を借り、仲間と協力しながら取り組んで欲しいと思います。また思う様な結果が得られず、悩む事、自分や就活が嫌になる時もあると思います。その様な時は、選考を振り返る事は重要ですが、企業との相性が悪かったと割り切る事も大事だと思います。（修士）

頑張りすぎてしんどくなったら休もう（修士）

なんとかなりますので腐らずに頑張ってください（修士）

その他アドバイス（前頁からの続き）

自分の人生がかかっているのです、とにかく根気よくやりましょう！恐らく私は誰よりも長い1年1ヶ月の期間就活をしました。内定も複数ありましたが、私自身が納得出来る形を求めて続けてきたことを誇りに思っています。（修士）

就職活動は早め始めることが肝心です。（修士）

選考がとても早期化しているのです、早めに自分の将来について考えて選択する必要があります。（修士）

自分一人で、就職活動を行うのではなく、学校・研究室の先輩・友人など様々な人の意見やアドバイスを取り入れた方がいい。（修士）

自分のやりたいことやったらええ。（修士）

周りの人の手を借り、仲間と協力しながら取り組んで欲しいと思います。また思う様な結果が得られず、悩む事、自分や就活が嫌になる時もあると思います。その様な時は、選考を振り返る事は重要ですが、企業との相性が悪かったと割り切る事も大事だと思います。（修士）

私は一度も内定が出ず冬まで就職活動を続け、22年入社として落ちた会社に志望度の高さをお伝えし、23卒の採用活動前に23年入社として内定をいただきました。就職活動がうまくいかないと悩んでいる人の希望のひとつになればいいと思いお伝えいたします。（学部）

人事を尽くして天命を待つ。結果は運に左右される部分もあるので、自分にやれることを最大限やりきることが一番後悔がないと思います。（修士）

友人と互いに協力しながらも、友人の就職活動に対する考えや結果に惑わされず、自分の意思で就職先を決定してほしい。（修士）

大学院進学希望でも学部3回生から就活に触れておくべきだと思います。（修士）

その他アドバイス（前頁からの続き）

自らの道を進むことが将来への近道である（修士）

方向性が定まっていなくても、行動を起こしているうちに自分なりの価値観や興味のあることが生まれてくると思うので、重く考えすぎないくらいがちょうどいいです！（修士）

どのタイミングで就職活動を始めても早すぎることも遅すぎることもありません、気軽にスタートをきってください。（修士）

推薦にこだわらないこと（修士）

院に進むかどうか悩んでいる人は一応春に就活しておいた方がいい。（学部）

落ちてもすぐに行動する。落ち込まない。（修士）

公務員試験の勉強は、早めに始めましょう。（修士）

この大学は基本的にほぼ全ての企業に知られているので、実力に見合わないと思う企業にも果敢に挑戦して良いと思います。ただ事前準備は怠らないように。（修士）

オンラインに慣れておくといいと思います。（修士）

落ちるパターンを頭の片隅に置いたほうがいいのかも。落ちた時の落差とショックで後々の就職活動で影響が出ると思う。あと、事前準備と練習は大切。（修士）

後悔のない就職活動ができることがベストではありますが、万が一上手くいかなくもその先どうにかなると思います。一度失敗したら2度と先はない、などとプレッシャーを受けすぎると心身ともにまいってしまうこともあると思いますので、重く感じすぎずにどうか活動を続けていってほしいです。（修士）

その他アドバイス（前頁からの続き）

研究が嫌な奴ほど就活頑張れ。閉鎖的空間で上手くやるより、社会で上手くやれる人間の方がずっとかっこいいという強気で当たるべき。その分、自分の研究を話すことができるようになること。実験のうまさとは話す上手さは相関関係がない。面接対策はリハーサルも大事だが、雑誌会などでどのようにすれば相手に話が伝わるかを考え抜くこと、正直これだけでESと面接は怖くなくなった。良くない話かもしれないが、状況次第では就活が心の頼りになる時もある。要は就活はやれば不安じゃなくなる。（修士）

就活を知ること。自分の戦い方を探求すること。（修士）

昨今は、就活がどんどん大学生活に入り込んできており、学生たちの前に「将来のために、やらなければならないこと」で溢れかえっているように感じます。多種多様な選択肢がある中でしょっちゅうもない就活ビジネスに踊らされないよう注意してほしい。また「一度ルールを外れてしまっても、何とかなる」ということは知っておいてほしい。（博士）

